

質問日	令和4年12月2日(金)		質問方式	分割方式			
質問順位	10	会派名	自由民主党浜松	議席番号	46	氏名	柳川 樹一郎
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 天竜浜名湖鉄道の利用促進と今後の支援について	<p>天竜浜名湖鉄道は厳しい経営状況の中、ゆるキャン△やエヴァンゲリオンなどを活用して、様々な努力をしていることは理解しているが、「沿線住民の足」として市民の利用者を増やしていくことが課題であると考えている。また、全線開通から82年が経過し、第三セクター化から35年が経過する中、車両や軌道などの鉄道施設は老朽化が進んでおり、今後も地元の人に愛され、安心して利用してもらうには、運行を支える鉄道施設を健全に保つことが重要だと思う。</p> <p>そこで、現状改善に向けた利用促進の取組や鉄道施設の更新をどのように考えているのか、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 地域住民の利用を促進するための支援について伺う。</p> <p>(2) これまでも本市は天竜浜名湖鉄道に対して静岡県や沿線市町と共同で経営支援を実施してきたが、今後の鉄道施設更新に対する支援についての考えを伺う。</p>					井熊都市整備部長	
2 本市の台風や線状降水帯の豪雨対策と対策の現状について	<p>近年、気候変動の影響により、時間雨量50ミリを超える短時間豪雨が増加するなど、水災害が激甚化し頻発している。特に本年は、7月26日に7月の観測史上最大となる時間最大89ミリの豪雨により、西区を中心に浸水被害が発生し、9月2日には時間最大118ミリの猛烈な雨により、本市初の「警戒レベル5(緊急安全確保)」が発令され、浜北区を中心に大きな浸水被害が発生した。さらに、9月23日からの台風第15号では、市内で約2000棟の家屋が浸水被害を受け、国の激甚災害に指定される甚大な被害になるなど、豪雨による被害が立て続けに発生した。</p> <p>激甚化、頻発化する自然災害から生命と財産を守るためには、河川管理者が行う河川整備に加え、あらゆる関係者が協働し、流域全体で「流域治水」による総合的かつ多層的な対策が必要であり、本市においても関係機関が連携して対策に取り組んでいると聞いている。</p> <p>そこで、本市の豪雨対策と対策の現状について、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 災害について、各地域でどのような危険があるのか、地域特性について伺う。</p> <p>(2) 関係機関が連携して実施している流域治水の取組に</p>					伏木土木部長 〃	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>ついて伺う。</p> <p>(3) 道路冠水時の車両等への情報提供について伺う。</p> <p>(4) 排水機場などの農業施設の取組について伺う。</p>	<p>伏木土木部長 清水農林水産 担当部長</p>
<p>3 大河ドラマ「どうする家康」の放映に伴う浜松城公園の在り方とこれからについて</p>	<p>NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映は、本市にとって千載一遇のチャンスと見ている。そこで、以下5点について伺う。</p> <p>(1) 本市の家康公ゆかりの主な文化財や伝承にはどのようなものがあるか伺う。</p> <p>(2) 大河ドラマの放送期間中、浜松市美術館で家康公に関連した企画を開催する考えはないか伺う。</p> <p>(3) 大河ドラマ館のプレオープン、グランドオープンの展示内容と来館者見込数について伺う。</p> <p>(4) 大河ドラマ館や施設の跡地利用をどのように考えているのか伺う。また、当面の間、二の丸御殿の礎石や御殿の想像図などを展示できる施設にしておく方法はないか伺う。さらに、展示に利用した建物を活用する考えはないか伺う。</p> <p>(5) 徳川家に関わる四天王にまつわることや、本市はもとより県西部の他都市との連携、さらに神社仏閣など広く観光スポットにしていく考えはないか伺う。</p>	<p>嶋野文化振興 担当部長</p> <p>〃</p> <p>鈴木観光・ブ ランド振興担 当部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>4 中田島砂丘と防潮堤の保全について</p>	<p>日本三大砂丘の一つで観光名所となっている中田島砂丘は、時代とともに景観も移り変わり、防潮堤が完成した現在の風景は目を見張るものがある。</p> <p>防潮堤は周囲になじむよう砂で覆われ、大砂丘としての景観を損なうことがないように建設された。</p> <p>しかし、現在、かぶせた砂が風で飛ばされ、防潮堤の本体がむき出しになっている。さらに海岸浸食により砂浜部分が縮小しており、本市の天然記念物である「アカウミガメ」や「ハマボウフウ」、「ハマヒルガオ」などの生態系への影響も危惧される。</p> <p>そこで、砂丘並びに砂浜の保全と、砂丘の一部としての防潮堤の管理について伺う。</p>	<p>藤田環境部長</p>
<p>5 馬込川に建設中の水門を観光資源とすることについて</p>	<p>県が令和9年度の完成を目指し、馬込川に水門を整備している。これが完成すれば、減災効果は大きく、地域住民の安全・安心につながる。さらに、馬込川で分断されている防潮堤をつなぐことになり、中田島砂丘とともに新たな観光の名所になると思うが、水門を観光資源として活用する考え方について伺う。</p>	<p>鈴木観光・ブ ランド振興担 当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>6 市長のブラジル表敬訪問の成果について</p>	<p>10月に実施された市長のブラジル訪問について、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウンとしての選手団の受入れの成果を伺う。</p> <p>(2) ブラジルへの訪問理由は何か伺う。</p> <p>(3) 代表選手団の受入れの今後の展望について伺う。</p> <p>(4) パラスポーツの施設を設置する考えはないか伺う。</p>	<p>鈴木市長</p> <p>〃</p> <p>嶋野文化振興担当部長</p> <p>〃</p>
<p>7 地域産業の持続的な成長を牽引するための次世代人材（高校生・大学生等）の育成と活動支援について</p>	<p>企業がデジタル技術を活用して生産性を高め、また企業がイノベーションを起こすためには、設備投資だけでなく、人材への投資、特に次世代を担う高校生や大学生等の次世代人材への育成支援が不可欠である。</p> <p>また、まちを活性化し、持続可能なまちづくりを進めるに当たっても、まちづくりの視点を持ちつつ事業を行う次世代人材の育成が必要と考える。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 地域産業の求める人材育成を目指し、ヤマハ発動機株式会社の協力の下、浜松城北工業高校で今年度から実施している「マイスター・ハイスクール事業」の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 地域産業の持続的な成長や持続可能なまちづくりにおいて、イノベーションを起こすための次世代人材の育成と活動支援の今後の方針について伺う。</p>	<p>藤野産業部長</p>